

環境経済学

環境と社会経済との関係について文献調査、レジュメ作成、プレゼンテーション、討論、レポート作成などを行い、大学での研究活動に不可欠な基礎的能力を高め、各自の専門研究への対応能力を整えることを目的としています。

Index

I. 図書を探そう

まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながらキーワードを広げたり、絞り込みを行ったりして軌道修正していくと良いでしょう。

II. 新聞記事を探そう

社会的な動きを知りたいとき、新聞は有用な情報源です。過去の新聞記事からは、その時代の動きを遡って確認することができますし、特定のテーマに関連した特集や社説、多方面の情報を広く集めることも可能です。興味のあるキーワードで新聞記事を検索してみましょう。

III. 雑誌記事を探そう

月刊誌や週刊誌のような一般的な雑誌記事から、専門的な学術雑誌の記事まで、様々な雑誌記事があります。これらを見ることで、一般の関心の方向性、社会との関わりから研究の最前線までを調べることが出来ます。

IV. インターネットで探そう

様々な有用サイトがオンライン上に存在しています。検索エンジンなどを用いて、探してみましょう。

V. ことばの定義や意味を確認してみよう

情報を探している途中で分からない用語が登場したときは、辞書や事典をひいて理解を深めながら探索するよう心がけましょう。

VI. Next Step さらに専門的な情報を探してみよう

基礎セミナーB 中田実

キーワード

環境

社会経済

環境経済学

レポート作成

1. 図書を探そう

まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながらキーワードを広げたり、絞り込みを行ったりして軌道修正していくと良いでしょう。

1-1. ブラウジングで図書を探しましょう－図書館を歩いてみよう

図書館では、同じような分野が近くにくるように本が分類され、配置されています。直接、図書館の棚に行って、関連分野の分類番号を中心に本を探してみましよう(ブラウジング)。

附属図書館の利用案内を見れば、分類表や中央図書館の資料配置が分かります。

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/index.html>

分類番号	分野
335.15	企業. 経営(335) > 経営倫理. 企業責任
451.35	気象学(451) > 気温. 温度. 湿度
451.85	気象学(451) > 気候変化. 気候変動: 温暖化, 温室現象
518.52	衛生工学. 都市工学(518) > ごみ. ごみ処理、(518.523 ごみの再利用)
519	公害. 環境工学

この分類以外にもあちこちに関連する本が配置されています。
是非、OPACのキーワード検索で眠っている資料を探してみましよう！

？ 中央図書館で入門書を探すときに

中央図書館3階が、学部生向けの「学習用図書」スペースです(OPACでは「中央学3F」と表示)。ただし新書や文庫は、3階奥に別置されています(OPACでは「中央学S」と表示)。ブラウジングする場合は、両方の書架を探してみてください。

1-2. OPACで図書を探しましょう－図書館の所蔵検索を試みよう

オンライン目録(OPAC)で、名古屋大学の蔵書を調べることができます。「キーワード」を入力して検索してみましよう。

？ 所蔵の探し方がわからないときは

データベースや図書館資料の利用方法を簡単に紹介したシート「ガイドシート」をご覧ください。

名古屋大学附属図書館 > 利用案内 > ガイドシートリスト > 2. 所蔵をさがす

(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html>)

また、図書館のカウンターで訊いてみるのも良いでしょう。

1-3. 入門的な図書を読みましょう

ここに挙げた本以外にも、読んだ本の章末や巻末に掲載されている参考文献などから、更に関連図書を探してみましょう(チェイニング(芋づる式探索))。

環境一般



図書(の
章節)

タイトル 日本低炭素社会のシナリオ：二酸化炭素70%削減の道筋

著者名 西岡秀三編著

リンク先 [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01895976&](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01895976&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

URL [initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01895976&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

ひとこと 2050年日本はCO₂を70%削減することが可能である。20世紀型エネルギー技術社会からの

紹介 大転換をどう乗り切るか。低炭素社会からのバックキャストがそのシナリオを明らかにする。



図書(の
章節)

タイトル 温暖化論のホンネ：「脅威論」と「懐疑論」を超えて

著者名 枝廣淳子, 江守正多, 武田邦彦 著

リンク先 [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03017980&](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03017980&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

URL [initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03017980&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

ひとこと 環境ジャーナリスト・枝廣淳子氏、温暖化予測の科学者・江守正多氏、環境問題に関連する

紹介 多くの著作をもつ・武田邦彦氏の三者が、温暖化懐疑論や脅威論という次元を超え、科学的な知見をもとに、温暖化論の本質のみに迫る。



図書(の
章節)

タイトル 環境白書・循環型社会白書／生物多様性白書

著者名 環境省総合環境政策局環境計画課, 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課, 自然環境局自然環境計画課 編, 環境省総合環境政策局, 環境省, 環境省自然環境局

リンク先 [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WS01893635&](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WS01893635&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

URL [initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WS01893635&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

ひとこと 環境省が毎年発行する白書。「環境白書」(初期は「公害白書」と「循環型社会白書」が統合

紹介 されて現在の形になっています。オンラインでPDF版が無料公開されています。→

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html>

環境経済学



タイトル 環境経済学入門

著者名 R. K. ターナー, D. ピアス, I. ベイトマン著, 大沼あゆみ訳

リンク先 [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01115029&](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01115029&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

URL [initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01115029&URL_initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

ひとこと 環境経済学の理論・政策・実態・しくみ等をわかりやすく解説する、国際標準テキスト。

紹介

図書(の
章節)

タイトル 環境経済学をつかむ

著者名 栗山浩一, 馬奈木俊介Ⅰ著

リンク先 http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WBo1835519&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB
URLひとこと
紹介

専門的な知識を持たなくともエッセンスを確実に理解できるように, 具体的な環境問題を取り上げながら丁寧に解説した初級入門書。環境問題が生じる背景には経済のしくみが存在することを理解し, 環境政策・環境評価・環境経営の重要性について学習する。



タイトル はじめての環境経済学

著者名 ジェフリー・ヒールⅠ著, 細田衛士, 大沼あゆみ, 赤尾健一Ⅰ訳

リンク先 http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WBo1560969&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB
URLひとこと 世界的経済学者ヒール教授の環境保全戦略論。数学や経済学の知識なしでやさしく読める。
紹介 市場メカニズムと地球環境との関係を明快に解説した環境経済学入門テキスト。

タイトル 社会環境学の世界

著者名 竹内恒夫, 高村ゆかり, 溝口常俊, 川田稔 編

リンク先 http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WBo3017103&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB
URL

ひとこと 社会科学としての環境学、すなわち社会環境学の多様なアプローチを紹介し、基礎的知識とより深い研究への指針を提供する。

レポートの書き方

図書(の章
節)

タイトル レポート・論文の書き方入門

著者名 河野哲也Ⅰ著

リンク先 http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WBo1294164&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB
URLひとこと
紹介

レポートや論文には練習方法がある。書く前に必読!

図書(の章
節)

タイトル これからレポート・卒論を書く若者のために

著者名 酒井聡樹著

リンク先 http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WBo1732632&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB
URLひとこと
紹介

レポートや卒論を書いたことがない人向けに書かれている。レポート・卒論とはどんなものか? 内容はどうやって組み立てて、書き方にはどんな作法があるのか? といったことがわかる。



図書(の章
節)

タイトル これから論文を書く若者のために
著者名 酒井聡樹 著
リンク先 http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WBO1650018&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB
URL

1-4. 国内で刊行されている図書を探しましょう —名古屋大学以外の図書館にも行ってみよう

？ 学内に所蔵がないときは

①他の図書館から、大学図書館経由で取り寄せる

送料は自己負担となります。ただし愛知県図書館便を用いた公共図書館からの取り寄せは、無料。詳しくは中央館相互利用カウンターでご相談ください。

(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/index.html#toriyose>)

②所蔵している図書館に直接行く

名古屋市図書館の場合、名古屋大学の学生証で「利用証」を作って本を借りることができます。その他、居住している地域の図書館などでも本を借りられることがあります。図書館によって、規則は異なります。訪問前に、あらかじめ所蔵調査を行い訪問先図書館の規則・指示を守ってください。

※大学図書館の場合、紹介状が必要なこともあります。その場合は中央館相互利用カウンターまたは所属図書室のカウンターでご相談ください。

(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/index.html#houmon>)

【国内の図書館の所蔵を調べるツール】

愛蔵くん(愛知県内図書館 横断検索)

愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。大学図書館に比べ、より平易な一般書の所蔵が多いため、入門書を探すのに向いています。若干時間はかかりますが、予約の入っていない本であれば、中央図書館経由で無料で取り寄せができます。

(http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm)

Webcat Plus

全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースを、日本語の図書の内容・目次データから検索できます。「連想検索」システムで、検索ごとに関連ワードが表示され、検索枠を広げていくことが出来ます。他大学の書も、送料自己負担で取り寄せて借りることができます。

(<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)

NDL-OPAC

国立国会図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。(<http://opac.ndl.go.jp/>)

もっと調べるには、こちらのリンク集も参考にしてください。

「所蔵目録(国内)」 <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/dbdb/holdj.html>

2. 新聞記事を探そう

社会的な動きを知りたいとき、新聞は有用な情報源です。過去の新聞記事からは、その時代の動きを遡って確認することができますし、特定のテーマに関連した特集や社説、多方面の情報を広く集めることも可能です。興味のあるキーワードで新聞記事を検索してみましょう。

2-1. 朝刊や夕刊など、紙で発行されている新聞の記事を探す

名古屋大学では、新聞記事データベースと呼ばれる、紙媒体で発行されている新聞記事の紙面を検索できるツールがあります。地方版の紙面や、特集記事なども検索できるため、インターネットの速報ニュースとはまた違った記事が見つけれられるでしょう。これらのデータベースは名古屋大学として契約しているため、大学内のLANに接続されたPCから検索できます。(自宅からは検索できません。)



インターネット・DB

タイトル 聞蔵IIビジュアル

リンク先

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#KIKUZO2>

ひとこと
紹介

朝日新聞のオンライン記事データベースです。創刊(1879年)からの記事を検索できます。AERA(1998年5月(創刊号)-)、週刊朝日(2000年4月-ニュース面)、現代用語「知恵蔵」最新版も検索できます。学内限定です(同時利用可能ユーザー数は1名)。必ず、[ログアウト]ボタンで終わってください。



インターネット・DB

タイトル 中日新聞・東京新聞記事データベース

リンク先

URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#CHU

ひとこと
紹介

中部地方の情報をくまなくカバーする中日新聞(1987~)のデータベース。学内限定、同時アクセス数は1名です。終了したら必ず[ログアウト]ボタンを押してください。



インターネット・DB

タイトル 日経テレコン21(学内限定)

リンク先

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#NK21>

ひとこと
紹介

日経4紙『日本経済新聞』、『日経産業新聞』、『日経流通新聞MJ』、『日経金融新聞』の記事が収録されています。その他、企業検索「日経会社プロフィール」、人事検索「日経Who's Who」なども利用可能です。

2-2. インターネットで公開されている新聞の記事やニュースを探す

各新聞社が速報ニュースをインターネットで公開しています。

- **asahi.com** (朝日新聞社の速報ニュースサイト) <http://www.asahi.com/>
- 中日新聞 (**CHUNICHI Web**) <http://www.chunichi.co.jp/>
- **NIKKEI NET** (日経ネット) (日経の最新ニュースを速報) <http://www.nikkei.co.jp/>
- 毎日 **jp** (毎日新聞のニュース・情報サイト) <http://mainichi.jp/>
- **MSN産経**ニュース <http://sankei.jp.msn.com/>
- **YOMIURI ONLINE** <http://www.yomiuri.co.jp/>
- **The Japan Times Online** <http://www.japantimes.co.jp/>
- **Online Newspapers** <http://www.onlinenewspapers.com/>
世界のオンライン新聞のリンク集です。Asia>Japanを選択すると、日本のオンライン新聞が一覧されます。

その他、「名古屋大学附属図書館Webサイト <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>> リンク集 (Academic Resource Cabinet) <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/dbdb/>> 新聞」の中にも有用リンクがあります。

？ 過去の記事を遡って探したいときは

各新聞社の無料公開する速報ニュースでは、過去の記事は削除されてしまうこともあります。そんなときは、「2-1. 朝刊や夕刊など、紙で発行されている新聞の記事を探す」にある、名古屋大学で契約している新聞記事データベースを使いましょう。朝日新聞で1945年から、中日新聞で1987年から、日経新聞では1990年前後からの記事が収録されています。

2-3. 新聞の所蔵を探す

読みたい新聞記事が、何新聞の何年何月何日に掲載されている...というのは分かったものの、実際の記事が見つからないときは、新聞本体を探す必要があります。図書館の所蔵検索では、本と新聞は別の検索システムになっていることがよくありますので、気をつけましょう。

- 名古屋大学所蔵新聞目録 <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/newspaper/index.html>
名古屋大学内には約30の図書館・図書室がありますが、それらが所蔵する新聞を一括検索できます。(※新聞の所蔵は、名古屋大学蔵書検索OPACでは検索できませんのでご注意ください。)
- 愛知県内図書館 雑誌・新聞総合目録 <http://www.aichi-pref-library.jp/soumoku/index.html>
愛知県内の公共図書館等で継続受入中の雑誌・新聞の一覧です。(愛知県図書館管理)
- 全国新聞総合目録データベース <http://sinbun.ndl.go.jp/>
新聞の書誌事項と所蔵機関の確認が可能です。(国立国会図書館管理)

3. 雑誌記事を探そう

月刊誌や週刊誌のような一般的な雑誌記事から、専門的な学術雑誌の記事まで、様々な雑誌記事があります。これらを見ることで、一般の関心の方向性、社会との関わりから研究の最前線までを調べることが出来ます。

3-1. 雑誌記事(一般的、日本語)を検索できるデータベース

名古屋大学では、様々なデータベースを契約しています。比較的一般的な雑誌を検索できるツールとしては、下記のようなものがあります。

タイトル 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索 Web版 (学内限定)



インター
ネット・DB

リンク先
URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbjapanese.html#oya>

ひとつこと
紹介

豊富な内容とユニークな切り口で知られる、雑誌専門図書館・大宅壮一文庫の雑誌記事索引のWeb版です。週刊誌、総合月刊誌、女性誌など現代ジャーナリズムの最先端をいく「マガジン」の記事情報が検索できます。1988年以降最新まで、約400誌から採録。学内限定で、同時アクセス数は1名です。



インター
ネット・DB

タイトル 日経BP記事検索サービス(学内限定)

著者名 日経BP社

リンク先
URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#NKBP>

ひとつこと
紹介

日経BP社の雑誌 約40誌のバックナンバー記事を検索・本文を表示できます。このサービスは、年度内に記事本文を表示できる件数に上限があります。ご利用にあたっては、必要なもののみ本文を表示するようにしてください。

3-2. 雑誌記事(学術的、日本語)を検索できるデータベース

学術雑誌を中心とした雑誌記事の検索ができるツールです。



インター
ネット・DB

タイトル CiNii Articles(サイニイ) (一部の本文は学内限定)

著者名 国立情報学研究所

リンク先
URL <http://ci.nii.ac.jp/>

ひとつこと
紹介

国内で刊行された雑誌記事を探することができます(主に学術雑誌・大学紀要・学会誌)。一部の雑誌については、論文全文をダウンロードし閲覧することができます。NULinkが利用できます。



インター
ネット・DB

タイトル MAGAZINEPLUS(学内限定)

リンク先
URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbjapanese.html#MAGPLUS>

ひとこと
紹介 日本語で書かれた雑誌記事を探すことができます。掲載雑誌がわかったら、オンライン目録(OPAC)を使って、名古屋大学が所蔵しているかどうか調べることができます。同時アクセス数は1名です。

3-3. 雑誌記事を手に入れる

- データベースで「掲載誌」「巻号」「ページ」「記事／論文タイトル」等が分かったら、**OPAC**を使って、名古屋大学の所蔵を調べましょう。

? 所蔵の探し方がわからないときは

データベースや図書館資料の利用方法を簡単に紹介したシート「ガイドシート」をご覧ください。

名古屋大学附属図書館 > 利用案内 > ガイドシートリスト > 2. 所蔵をさがす

(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html>)

? 見つかった雑誌を名古屋大学で所蔵していないときは

コピーを取り寄せることもできます。所属別申込先一覧をご覧ください。

(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html>)

? 調べ方がわからないときは

図書館サイト「論文を探す」をご覧ください。

(http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide_c/guide/search/4.html)

NULink (エヌ・ユー・リンク)



データベース検索をすると、よく登場するするマーク。**Nagoya University Link Service**の略称で、名古屋大学が契約するデータベースなどの検索結果画面に表示される、電子ジャーナルや冊子体などの「本文情報」を探すためのツールです。詳しい案内は附属図書館サイト>利用案内>NULink案内で確認してみてください。

(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/nulink/>)

4. インターネットで探そう

様々な有用サイトがオンライン上に存在しています。検索エンジンなどを用いて、探してみましょう。

4-1. 研究所や大学、政府等、公共的な機関のサイト

さまざまな研究機関・行政機関が情報をWebサイトで公開しています。

	タイトル	白書(年次報告書)
	リンク先 URL	http://www.kantei.go.jp/jp/hakusyo/
インターネット・DB	ひとこと 紹介	日本の省庁が発行する白書の本文PDF版(無料公開)へのリンクがあります。白書とは、中央省庁が編集する政府刊行物で、政治経済社会の実態及び政府の施策の現状について国民に周知させることを主眼とするもの。現況や政策などがデータを交えて分かりやすく説明されています。

※環境省の「環境・循環型社会・生物多様性白書」(最新版:平成21年)のほか、「森林・林業白書」や「エネルギー白書」などの白書にも、環境問題(特に温暖化)に関する記述があります。

	タイトル	環境省
	リンク先 URL	http://www.env.go.jp/index.html
インターネット・DB	ひとこと 紹介	環境省のWebサイトです。白書情報、環境統計・調査結果、政策や関連トピックの説明など、環境に関する豊富な情報が得られます。

	タイトル	3R政策>> 資料を探す>>パンフレット(経済産業省)
	リンク先 URL	http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/pamphlet/index.html
	ひとこと 紹介	経済産業省ホーム>>3R政策ホーム>> 資料を探す>>パンフレット。経済産業省の発行する、「リデュース・リユース・リサイクル」の3Rのための広報用資料が、PDFで見られます。

4-2. 一般的なサイト

代表的な検索エンジン

Google (<http://www.google.co.jp/>)

Yahoo! (<http://www.yahoo.co.jp/>)

- 検索エンジンを使う時は、それぞれの特徴を調べて効果的に使いましょう。
- Yahoo!では、カテゴリの上または横のレベルも見ながら関連情報を探してみましょう。

得られた情報は、必ず発信源を確認して、その信頼性を吟味しましょう。また、複数の情報源で確認し、活用方法を考えましょう。

5.ことばの定義や意味を確認してみよう

情報を探している途中で分からない用語が登場したときは、辞書や事典をひいて理解を深めながら探索するよう心がけましょう。

一般的な辞書・事典

広い分野の辞書や事典です。



図書(の
章節)

タイトル 日本大百科全書

ひとつこと
紹介

小学館刊行。全26巻の、日本を代表する百科事典のひとつ。中央館2階、法、教育、情言、留学生センター、情報連携基盤センター、医保健(第2版)の各図書館/図書室で所蔵しています。オンライン版は「JapanKnowledge」で利用可能です(学内限定)。



図書(の
章節)

タイトル 世界大百科事典 全31巻 2005年改訂版

ひとつこと
紹介

平凡社刊行。日本を代表する百科事典のひとつ。
中央参 031//Se
にあります。



インター
ネット・DB

タイトル Japan Knowledge+

リンク先
URL

http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html

ひとつこと
紹介

「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」「imidas」「Encyclopedia of Japan」ほか英和・和英辞典等をオンラインで検索できます。同時アクセス数は4。使い終わったら必ず[ログアウト]してください。

専門的な辞書・事典

ライフサイエンス分野の辞書や事典です。専門用語を調べてみましょう。

6.Next Step さらに専門的な情報を探してみよう

発展的な探索のために

専門的な英語論文をデータベースを使って、検索してみましょう。キーワードの選び方に注意しましょう。その他にも、図書館サイトの「データベース」から様々なデータベースにアクセスできます。確認してみましょう。



インター
ネット・DB

タイトル Web of Science (学内限定)

リンク先 http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html
URL

ひとこと
紹介

全分野(自然科学、社会科学、人文科学)を対象に、引用率の高い学術雑誌に掲載された論文が検索できる引用文献データベース。通常の論文検索のほかに、引用文献から検索したり、関連する論文を検索したりすることができます。NULinkが利用できます。